

# まことに ゆ・た・かな心

横須賀市立ろう学校 中高等部通信 第18号

平成30年(2018年)1月9日

## 新しき 年の始めの うれしきは

### 古き人どら あへるなりけり

藤原兼輔

新年を迎えて嬉しいのは、懐かしい人と会えることだ、という意味です。

新年は親戚が集まってにぎやかになりますね。お年玉ももらえますし…。

昔は「数え年」といって、全員、1月1日に1歳ずつ年を取りました。生まれたときに1歳としていたので、大晦日に生まれた赤ちゃんは、翌日2歳になりました。今は「満年齢」といって、自分の誕生日に1歳年を取りますね。

学校の新年も、主役が集まって、学校らしくなりました。「お目玉」は食らわないように。

1月は高2職場実習、2月はお別れ遠足があります。そして、3月は卒業式ですね。



## 冬休みの出来事



栗ヶ岳 (檜で作られた「茶」)

【K先生】1年半ほど前から東海道五十三次歩きを不定期で行っています。府中(JR静岡駅の近く)まで進んでいたのですが、遠くなるにつれて、交通費がかかってしまいます。そこで、冬休みを利用して、2泊3日で袋井まで進む計画を立てました。

初日は府中から島田まで約30km歩きました。丸子は日本の紅茶発祥の地だそうです。藤枝はサッカーの町だけあって、サッカー最中を売っていました。

2日目は島田から掛川まで約20km歩きました。江戸時代は人足にお金を払って渡った大井川も、明治3年からは船で、明治15年からは橋を歩いて渡りました。金谷坂と青木坂がきつかったですが、日坂の手前の茶畑と雪、そして、すれ違う掛川市立栄川中学校の生徒達の挨拶に癒やされました。ゴール地点の掛川では、掛川城が迎えてくれました。



最終日は掛川から袋井まで約10km歩きました。袋井は日本橋からも京からも数えて丁度二十七番目なので、「どまん中」という言葉がいろいろなところに登場します。左の画像は、袋井市立袋井東小学校の正門で、左側に「東海道五十三次どまん中東小学校」と書かれています。

あと250kmくらい残っていますが、時間を見つけて踏破したいです。

あと250kmくらい残っていますが、時間を見つけて踏破したいです。

